

私立大学図書館協会 2013年度第2回常任幹事会議事要録

1. 日 時 2013年12月6日(金) 14時00分～17時00分
2. 場 所 明治大学 グローバルフロント17F C6会議室
3. 出席者 名簿のとおり

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、立命館大学図書館長・平野仁彦が担当した。

<報告事項>

1. 協会会務報告

会長校立命館大学(武山)より配付資料(p.4～6)にもとづき、報告が行われた。

2. 東地区部会会務報告

東地区部会長校明治大学(菊池)より配付資料(p.7～8)にもとづき、報告が行われた。あわせて、東北・北海道地区のあり方についての検討経緯、アンケート実施を予告する文書を11月15日に東地区部会加盟校へ発送したこと、また、現段階で特段の意見は寄せられていないため、来年1月にアンケートを実施する予定である旨の報告が行われた。

3. 西地区部会会務報告

西地区部会長校愛知学院大学(足立)より配付資料(p.9～13)にもとづき、報告が行われた。

4. 委員会報告

(1) 協会賞審査委員会

会長校立命館大学(武山)より配付資料(p.14)にもとづき、報告が行われた。10月1日付の異動により委員長が交代したこと、協会賞の推薦受付期間中であるが、現時点で応募はないことが報告された。

(2) 研究助成委員会

会長校立命館大学(武山)より配付資料(p.14)にもとづき、報告が行われた。また、11月29日に締め切られた研究助成の応募数が少ないため、12月5日～12月20日の期間に再募集を行うことになった旨の報告がされた。

(3) 国際図書館協力委員会

報告事項10.においてまとめて報告された。

(4) 協会ホームページ委員会

会長校立命館大学(武山)より配付資料(p.15～16)にもとづき、報告が行われた。また、別紙にて、同委員会より提出されたホームページの業務委託契約の遅延についても報告がなされた。この遅延の主な理由は、前委員会で未締結のまま新体制に引き継がれたことによる。委員会では、次年度はこのような事がないように留意する旨の報告がされた。

5. 協会関連事項報告

会長校立命館大学(平野・武山)より配付資料(p.17～18)にもとづき、以下の報告が行われ

た。

- (1) 国公立大学図書館協力委員会
2013年11月29日(金)開催(於:早稲田大学)
 - (2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
2013年11月29日(金)開催(於:国立国会図書館)
 - (3) 日本図書館協会
報告事項なし。
 - (4) 後援・共催
①第7回資料保存シンポジウムの後援
例年通り、名義使用のみ。
6. 2013年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員
会長校立命館大学(武山)より配付資料(p.19~21)にもとづき、10月1日以降の異動について報告が行われた。
 7. 2014年度行事・会議予定
会長校立命館大学(武山)より配付資料(p.22)にもとづき、今年度1月以降の予定とあわせ、2014年度に予定されている行事・会議について報告が行われた。
 8. 総会・研究大会のWeb案内・申込について
会長校立命館大学(武山)より配付資料(p.23~26)にもとづき、Webを利用した案内と参加申込について報告が行われた。今年度大会からの初の試みであったが、当番校の負担軽減に大きく寄与し、特段問題は生じなかった。この事により、次年度もこの方法を引き継ぐこととし、申込みフォーム等に関しては、ホームページ委員会の協力の下、さらに改善を加えたい旨の報告がされた。
 9. 研究助成援助金について
会長校立命館大学(武山)より研究助成援助金について、従来、寄付を頂いている3社に加え、株式会社キャリアパワーよりご寄付を頂いた旨、加えて国際図書館協力基金へもご寄付を頂いた旨、報告が行われた。
 10. 2013年度海外集合研修の進め方について
会長校立命館大学(臼井)より配付資料(p.14~15)にもとづき、委員会報告が行われ、引き続き、別紙配付資料にもとづき、2013年度の海外集合研修に関する次の諸点について報告が行われた。
 - ・ 2013年度海外集合研修先の選定方法とその研修内容についての当初提案
 - ・ 海外集合研修に関する2011年度第2回東西合同役員会にて協議された事項の再確認要請
 - ・ 2013年度第2回国際図書館協力委員会以降の委員会議事における海外集合研修企画案(その問題点と経緯)
 - ・ 第4回国際図書館協力委員会に提出された国際図書館協力委員会委員長より提出された「海外集合研修に関西大学図書館長が同行することに関する文書」の内容とその議論および議事録(案)

これを受け、意見交換を行った結果、以下のとおり確認した。

- ・ 国際図書館協力委員会は事業が多岐にわたるため、委員会の負担軽減・作業の合理化・効率化をはかり、特定の個人に負担をかけるようなことのないよう組織的運営を行う意味からも、前委員会で業務委託の提案がされた経緯がある。これについて現委員会で再確認し、運営を行っていく。
- ・ 当該プログラムの趣旨から、応募資格者は職員のみであり、教員を含むものではない。
- ・ 当該プログラムには随行や引率の取り決めがないため、本協会予算で研修者以外を派遣することは難しい。

以上を全員で確認し、国際図書館協力委員会に対し、常任幹事会の意向を伝えることとなった。

<協議事項>

1. 2013 年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込みについて

会長校立命館大学(武山)より配付資料 (p. 27～29) にもとづき、11 月 15 日までの予算執行状況報告および今後の執行予定額を含む決算見込みについて、説明ならびに提案がされた。

続いて、会長校立命館大学(高橋)より、③総会・研究大会特別会計についての補足説明が行われた。当番校より一般会計に戻入された総会・研究大会特別会計の残金は、11 月 15 日時点では表のとおりであるが、その後、会長校で確認した結果、誤処理が見つかり 11 月末までに修正処理をし、残金は③記載の戻入額となったという説明がされた。

若干の質疑応答の後、提案どおり了承された。

2. 2014 年度事業計画 (案)

会長校立命館大学(武山)より、配付資料 (p. 30～31) にもとづき、説明ならびに提案がされ、協議の結果、提案どおり了承された。

3. 2014 年度一般会計・特別会計予算 (案)

会長校立命館大学(武山)より配付資料 (p. 32～33) にもとづき、説明ならびに提案がされた。昨年度と比較し、主な変更点は、次のとおり。

- ・ 今年度実績や一斉メール活用を考慮し、通信費の減額。
- ・ シンポジウム開催予定による国際図書館協力事業支援費の増額。
- ・ 次年度は、参加費を徴収せず、参加人数の拡大を視野に入れたシンポジウム開催をめざし、参加費を徴収しないこととし、国際図書館協力特別会計の事業収入は 0 円とする。

若干の質疑応答の後、提案どおり了承された。

4. 第 75 回 (2014 年度) 総会・研究大会について

会長校立命館大学(武山)より配付資料 (p. 34) にもとづき説明があり、異議なく了承された。

5. 規程改正 (案) について

会長校立命館大学(武山)より配付資料 (p. 35～45) にもとづき、説明がされた。

今次の改正 (案) の提案趣旨は、文言の整理および現在の会務にあわせ、趣旨をわかり易くしたものであることが説明された。意見交換の後、年内に会長校事務局に意見を集約して頂き、会長校で再度改正案を整理し提案を行うことになった。

6. 一斉メールの推進について

会長校立命館大学(武山)より配付資料 (p. 46～49) にもとづき提案がされ、会長校立命館大

学(高橋)より、補足説明が行われた。協議の結果、異議なく了承された。

〈懇談事項〉

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について
2. 会長校引継ぎ書類について

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣言した。

〈配付資料〉

- ・私立大学図書館協会 2013 年度 第 2 回常任幹事会 p. 1～61
 - 3) 協会ホームページ 2013 年度業務委託契約締結について p. 16 追加 (1p)
 - ・海外集合研修の進め方について p. 1～22
- 以上